

北海道農業向け営農支援ITシステムの開発

Development of a Farm Management Information System Suitable for Hokkaido

情報システム部 堀 武司・全 慶樹・近藤 正一・奥田 篤
大村 功

■支援の背景

本道の特徴的な営農形態である大規模畑作では、多数の大型トラクタ、作業機による機械作業が中心となるため、農業機械の導入・運用を効率化することが重要な課題です。「農業機械導入の手引き」(道農政部)などでは、作物の作業適期、機械の作業速度などのデータに基づき、機械作業計画を系統的に設計する手法を推奨していますが、計画設計作業が煩雑であり現場での実践が進んでいません。

そこで現場では、営農支援ITシステム開発に取り組む(株)コアとの共同で、北海道農業における機械作業計画設計に特化した「農作業スケジューリング支援システム」を試作しました。

■支援の要点

1. 「農業機械導入の手引き」に基づく計画設計手法の分析
2. システム要求仕様の作成
3. 道内農業生産法人の作業実績データ等を用いたシステムの評価試験



図1 システム実行画面例



図2 展示会(ビジネスEXP02016)への出展

■支援の成果

1. 機械保有台数、作付計画などの前提条件を与えることで、作業の実施時期と機械・人員の配置を自動的に設計できる「農作業スケジューリング支援システム」を試作しました。
2. 道内農業法人の実データを用いた評価試験を行い、「農業機械導入の手引き」に沿った機械作業計画を、自動スケジューラにより適時かつ簡便に作成できることを確認しました。
3. 試作システムは企業と共同で改良を進めており、製品化を予定しています。

(株)コア 北海道カンパニー 札幌市中央区北1条西4-2-12 Tel. 011-272-4111
道総研中央農業試験場